

3月12日(月) 13:40~16:40 224教室

3.11 東日本大震災が発生してからまもなく一年になります。今年度最後の授業日である3月12日の午後に、東日本大震災と関わりを持たれた身近な6名の方のお話を聞く特別授業を計画しました。一年間の授業とアカデミックミネ企画の最後を締めくくるにふさわしい意義のある特別授業になると思います。途中の入室・退室も可能ですので、ぜひとも多くの皆さんに参加してほしいと思います。

● 13:40~13:45 開会・講師紹介

13:45~14:05 小長谷誠先生 (峰高・理科)

“仙台市・松島での被災体験” 3/11~3/16

3.11 巨大地震が発生した時、私は仙台市内を流れる広瀬川の堤防を歩いていた。同じ時、高校3年生の息子は沿岸部にある松島にいた。情報、交通、ライフラインが途絶えた被災地での6日間の体験を話します。

14:05~14:45 安田直樹さん (京丹後市消防本部)

“南三陸町における消防緊急援助活動” 3/11~3/16

地震発生から5時間後のPM7:15。京丹後市消防本部から5名の隊員が出発。状況がつかめないうちで被災地へ急ぐ。途中で行き先変更の指示を受けながら最終的に南三陸町へ。被災直後の現地での活動報告です。

14:45~15:05 田中伸明先生 (峰高・数学科)

“陸前高田市・釜石市でのボランティア活動” 8/3~8/5

ボランティア活動って、どうやったら参加できるの？誰でも参加できるの？一人としてのボランティアの体験談をお話します。岩手県の被災地の様子を伝え、上の疑問にもできるだけ答える内容のお話です。

● 15:05~15:15 休憩・展示見学

15:15~15:55 田崎正浩さん (京丹後市商工観光部)

“陸前高田市復興応援センターでの活動” 8/1~9/30

商業の復興を支援するため8/1に開所された復興応援センター。4名のスタッフの一人として活動を開始。共同自炊生活をしながら何をしたらいいのか考えることからスタート。2ヶ月間の活動の話をお話します。

15:55~16:15 大橋悠紀先生 (峰高・英語科)

“南三陸町でのボランティア活動” 12/29~1/3

昨年日本は世界一の被災支援国になりました。日本国内や世界から人の力が集まってきました。今回の出来事、同じ日本で起こったこととして、どのようなことを考えますか。少しでも周りに目を向け、勇気があれば行動を起こすことの大切さをお話したいと思います。

16:15~16:30 今井利宗さん (山口大学院生・峰高卒)

“丹後大震災の伝承を伝える記念碑・慰霊塔”

丹後大震災を引き起こした郷村断層を初めとする丹後の活断層を研究していた今井さん。東日本大震災の津波の伝承の話聞き、丹後大震災の伝承を伝える記念碑・慰霊塔を調査して一冊の本にまとめました。

● 16:30~16:40 質疑応答・閉会



会場の224教室では、津波で浸水した地域を着色し、報道などで有名になった写真や出来事をまとめた、東北地方の大きな地図を展示します。また関連した本や被災地にゆかりの物品も展示します。

キリトリ

参加申込み用紙

アカデミックミネ特別授業「東日本大震災から一年」

()年()組()番 氏名()

提出：3月9日(金)までに担任の先生に提出して下さい